

平成27年度 決算認定に対する討論

討論
7会計

一般会計及び7特別会計等すべて認定しました

一般会計

大島光行議員

賛成

本決算は、歳入・歳出で、繰越し財源を控除した実質収支は12億1121万6204円の黒字決算である。また、歳入では依存財源は減少したものの自主財源は前年比7.9%の増加になり、一方歳出では町民の安全・安心確保の放射能対策事業を始め、主要46事業の執行状況は第6次那須町振興計画の最終年度に相応しい事業執行となっており、適正と認め、本決算に賛成する。

高久一伸議員

賛成

決算について、26年度よりも27年度事業はさまざまな改善がされ、適切と判断する。よって、本決算に賛成する。

賛成 13

小野曜子議員

反対

決算の財政指標、将来負担比率は前年より改善されたが63%と依然高い。それへの対策が示されていなかった。放射能除染、健康検査の施策や保育士不足への対策が不足していた。保育園の統廃合、民営化の方針は保育の後退になる、などの理由で反対である。

竹原亜生議員

反対

積み立てるべき剰余金を積み立てないで繰越し処理している。これは地方財政法第7条に違反しているため認定できない。

反対 2

国民健康保険特別会計

三上公博議員

賛成

町民の病気や怪我、出産、死亡などに関して医療費の支給がなされ、生活習慣病や人間ドック等の保険事業にも配慮されている。被保険者の負担の公平性と納税促進の観点から納税相談によって減免措置、短期被保険者証、資格者証の発行もなされ、町民の健康が守られているので、本決算に賛成する。

池澤昇秋議員

賛成

健康維持のため、検診率アップやハッスル年代健康チェック事業などに取り組んでいる。よって、本決算に賛成する。

賛成 13

小野曜子議員

反対

国庫補助金削減が大きな原因の一つで国保税が高くなった。引き下げは町民の切実な声だ。町の財源はあり、町民の暮らしを守るために使うべきである。

制度外繰り入れをしても国保税を引き下げよう求めてきたが実現していないので反対する。

竹原亜生議員

反対

剰余金処理が、地方財政法第7条に違反しているため認定できない。

反対 2

後期高齢者医療特別会計

三上公博議員

賛成

75歳以上の高齢者世代とそれ以下である現役世代との医療費負担を区分し、窓口業務は市町が財政運営は市町が加入する栃木県広域連合が行うものと役割分担され、適正な運営と適切な医療の確保がされていることから本決算に賛成する。

池澤昇秋議員

賛成

人間ドックの推進や受診率アップのために検診できる医療機関を増やしている。よって、本決算に賛成する。

賛成 13

小野曜子議員

反対

75歳以上を全体の医療保険制度から切り離れた日本独特の差別的制度。国民皆保険制度を持つヨーロッパ諸国など先進国では、年齢を理由に格差を持ち込んだ制度を作っている国は見当たらない。高齢者は重い保険料に苦しんでおり、反対する。

竹原亜生議員

反対

剰余金処理が、地方財政法第7条に違反しているため認定できない。

反対 2